

8 発疹(ぶつぶつ)が出た時



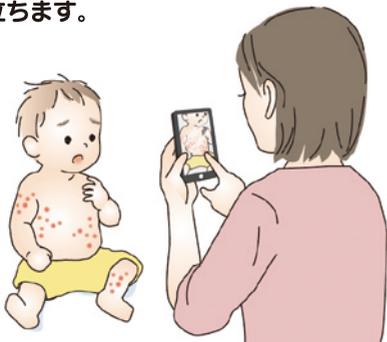
●どんな発疹(ほっしん)か、観察してみましょう

- ・発疹の大きさ、色、形
- ・発疹のできた場所
- ・皮ふの盛り上がりがあるか
- ・かゆみがあるか
- ・水ぶくれがあるか
- ・膿(うみ)が出ているか
- ・透明の定規などで押して赤みが消えるか

●発疹以外の状態も観察してください。

- ・呼吸、声に変化がないか
- ・顔色、くちびるに変化がないか
- ・目、まぶたに変化がないか
- ・口の中、舌に変化がないか
- ・手足の関節に変化がないか
- ・熱があるか

●発疹の状態をスマートフォンなどのカメラやビデオで撮影しておくことで診断の役に立ちます。



通常の診療時間内に受診しましょう

- かゆみが軽く、数個だけの発疹
- 水ぶくれがある発疹
- 膿(うみ)や汁が出る発疹
- 熱があるが、発疹以外に変化はない



早めに救急外来を受診した方がいい時

◆こんなときは救急車

- せきが出て、呼吸が苦しそう、声がかすれる、息がゼーゼー、ヒューヒューする
 - 口の中や舌が急にはれてきた
 - 顔色が悪い、くちびるが紫色
 - ぐったりして、呼んでも反応がない
- 発疹が出て、これらの症状が一つでもあれば、救急車を呼んでください。

◆早めに救急外来を受診した方がいい時

- かゆみが強く、眠れない
- 発疹がどんどん広がっている
- まぶた、くちびる、顔がはれてきた
- お腹を痛がり、吐いている
- 目やくちびるが赤い
- 足に紫色のあざがいくつもあ
- ひざなどの関節がはれて痛がる

◆お医者さんにかかる前に

- ほかのお子さんうつる病気の場合があります。受診の際は受付に症状を伝えてください。

◆お医者さんに伝えてほしいこと

- まわりに同じような症状の子がいるか
- 今までアレルギーを起こしたことがあるか
- 発疹が出る前にしたこと
 - ・薬を飲んだ(お薬手帳を持参)
 - ・草木をさわった
 - ・虫にさされた
 - ・動物にさわった・かまれた
 - ・何か食べた(食べ物の種類)



ADVICE

◆家庭で対処すること

- かゆみがひどい場合、発疹の範囲が小さければ、冷たいタオルなどで冷やすとかゆみが軽くなります。
- 温めるとかゆみがひどくなることがあるので、お風呂は短めのシャワーで済ませましょう。
- かきむしらないように、爪を切ってあげましょう。
- 薬を飲んだ後に発疹が出たら、そのあとは薬を飲まないようにしましょう。病院に行ったら、医師に相談してください。



◆注意すること

- アナフィラキシーでは、発疹が出てから1時間ぐらいの間に、症状が急激に悪化することがあります。注意して様子を見ましょう。
- 家族にうつる病気の場合があるので、タオルやコップは家族と別のものを使いましょう。